

みずほCustomer Desk Report 2018/06/11号(As of 2018/06/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.87
TKY 9:00AM	109.74	1.1793	129.40	1.3419	0.7617
SYD-NY High	109.85	1.1810	129.73	1.3439	0.7627
SYD-NY Low	109.20	1.1727	128.11	1.3355	0.7560
NY 5:00 PM	109.56	1.1770	128.94	1.3408	0.7599
NY DOW	25,316.53	75.12	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,645.51	10.44	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	2,779.03	8.66	米国2年債	2.4978	0.81bp
日経平均	22,694.50	▲128.76	米国5年債	2.7847	1.53bp
TOPIX	1,781.44	▲7.57	米国10年債	2.9470	2.57bp
シカゴ日経先物	22,670.00	▲55.00	独10年債	0.4435	▲3.30bp
ロンドンFT	7,681.07	▲23.33	英10年債	1.3870	▲1.05bp
DAX	12,766.55	▲44.50	豪10年債	2.8010	▲3.15bp
ハンセン指数	30,958.21	▲554.42	USDJPY 1M Vol	7.23	0.23%
上海総合	3,067.15	▲42.35	USDJPY 3M Vol	7.51	0.16%
NY金	1,302.70	▲0.30	USDJPY 6M Vol	8.00	0.15%
WTI	65.74	▲0.21	USDJPY 1M 25RR	-1.18	Yen Call Over
CRB指数	200.04	0.55	EURJPY 3M Vol	9.30	0.44%
ドルインデックス	93.55	0.15	EURJPY 6M Vol	9.50	0.34%

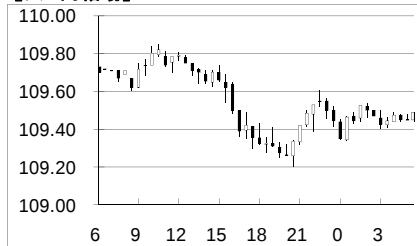
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月8日	08:50	日 GDP(前期比/前期比)・確報	1Q -0.2%/-0.6%	-0.1%/-0.4%
	12:24	中 貿易収支	5月 \$24.92b	\$33.25b
	12:24	中 輸出/輸入(前年比)	5月 12.6%/26.0%	11.1%/18.0%
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	4月 -1.0%	0.3%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	4月 0.1%	0.0%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	4月 0.8%	-
6月9日	10:30	中 PPI/CPI(前年比)	5月 4.1%/1.8%	3.9%/1.8%
		G7首脳会議(カナダ)		

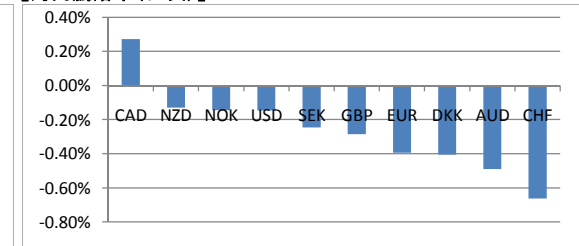
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月11日	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.1%/2.7%	0.1%/2.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 0.3%/3.1%	-0.1%/2.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.00	1.1730-1.1830	128.40-129.90

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円は、方向感の出ない展開。欧州時間序盤はアジア時間の流れを引き継ぎ109.20まで下落したが、米金利の上昇も後押しし、米国時間序盤には109.60近辺まで上昇。その後は目立った材料もなく、ドル円は109.40-50を中心とした値動きの出ない展開となった。今週は、米朝首脳会談やFOMCなど重要イベントが控えており、イベント通過までは方向感の出ない展開となろう。仮に、FOMCでFEDメンバーの利上げ見通しを示すドットチャートがタカ派となれば、米金利が上昇しドル円の上昇を後押しするだろう。

東京	東京時間オープン前に本邦第1QGDP二次速報値が発表され、予想対比やや悪化したもののドル円の反応は限定的。東京時間、109.74レベルで取引を開始したドル円は休日前の実質的な五・十日であることから本邦輸入企業によるドル買いが意識される中、高値109.85まで上昇。しかしその後は株安や新興国通貨安によるリスクオフムードが継続する展開となり、じりじりと上値重く推移。結局109.62レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、109.62レベルでオープン。週末に紛糾が予想されるG7サミットを控える中、リスク回避ムードの中で円買いが進み、ドル円は安値109.20まで下落。その後、109.43レベルでNYに渡った。東京時間終盤、1.18台で推移していたユーロドルは独4月鉱工業生産が予想を大きく下回り、ここ数日のユーロ急上昇からのポジション調整もあいまって1.18を割り込むと安値1.1727まで低下。結局1.1747レベルでNYに渡った。(ロンドントルフィー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	米国の保護主義的な貿易政策を巡り議論が難航することが予想されるG7首脳会談への警戒感や軟調な株式市場を背景に、ドル円は109円台後半から安値109.20まで下落し、109.43レベルでNYオープン。朝方は目立った米経済指標の発表がない中、米金利上昇を横目に109.60まで反発するが、ロンドンフィクシングにかけて109.34まで反落。しかし、7日(木)に荒れた値動きとなったブラジルにおいて、中銀の大規模措置を好感しブラジルレールが急反発する動きに、市場のリスク回避姿勢が緩和されたことで米株が上昇する中、ドル円は109.53まで再度反発。NY午後は、次週に米朝首脳会談、FOMC、ECB理事会などの重要イベントを多く控えていることから、109.45近辺での推移となり109.56レベルでクロス。本日トランプ米大統領はG7サミットへの出発前にホワイトハウスで「新合意の成立が不可能なら、我々はNAFTAを離脱する」とコメントした。一方ユーロドルは1.1747レベルでNYオープン。朝方は1.1736まで下落するが、堅調な株値を横目にユーロ円が上昇する動きにサポートされ、1.1778まで反発。その後は狭いレンジでの推移が続き、1.1770レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:福田・田家